



Informatica™

# Informatica® Corporation Data Integration Hub 10.5

## リリースノート 2021 年 4 月

© 著作権 Informatica LLC 2013, 2021

アップグレードによる変更.....	1
インストールおよびアップグレード.....	1
解消された制限事項.....	2
既知の制限事項.....	3
Informatica グローバルカスタマサポート.....	4

Data Integration Hub のインストールおよびアップグレード、新機能、解消された制限事項、既知の制限事項については、『*Data Integration Hub リリースノート*』を参照してください。

## アップグレードによる変更

Data Integration Hub をアップグレードした後の動作および機能の変更内容のリストについては、『*Data Integration Hub リリースガイド*』を参照してください。

## インストールおよびアップグレード

Data Integration Hub をインストールまたはアップグレードする前に、ご使用のシステムが最小要件を満たしていることを確認し、インストール前の手順に従ってください。Data Integration Hub のインストールまたはアップグレードの詳細については、『*Data Integration Hub インストール & 環境設定ガイド*』を参照してください。

## インストールおよびアップグレードの制限事項

以下の表に、インストールおよびアップグレードの制限事項について説明します。

問題	説明
DIHD-1040	<p>Windows オペレーティングシステム上に Data Integration Hub をインストールする際、PowerCenter コンポーネント用の Data Integration Hub クライアントプラグインをインストールし、カスタム ODBC 接続文字列を定義しても、インストール時に定義した文字列、ユーザ名、パスワードがプラグインに保存されません。カスタムワークフローを作成する際、イベントステータス名は PowerCenter Designer にロードされません。</p> <p>回避策: 次のいずれかを実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>- 文字列、ユーザ名、パスワードを次のファイルに入力する。&lt;Data Integration Hub インストールディレクトリ&gt;/powercenter/plugin version/dxplugin。ここで、Data Integration Hub インストールディレクトリは Data Integration Hub のインストールディレクトリで、version は Data Integration Hub サーバープラグインのバージョン番号です。</li><li>- イベントステータス名を、PowerCenter Designer に手で入力する。</li></ul>
DIHD-871	<p>HTTPS が有効になっている既存のインストールで、ダッシュボードとレポートコンポーネントを追加した場合、ダッシュボードが操作コンソールで開きません。</p> <p>回避策: ダッシュボードおよびレポートコンポーネントをインストールした後、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. システムプロパティ dx.dashboard.url の値を HTTPS パスとポート番号の値に変更します。デフォルトでは、18080 ではなく、18443 です。</li><li>2. Logi Info ダッシュボードライセンスファイル_Settings_encrypted.lgx を次の場所から開きます。 &lt;DIHInstallationDir&gt;\DataIntegrationHub\tomcat\webapps\dih-dashboard\_Definitions</li><li>3. パラメータ DX_CONSOLE_URL および LogonFailPage の値を編集し、システムプロパティ dx.dashboard.url に入力した値と同じにします。</li><li>4. Data Integration Hub サービスを再起動します。</li></ol>
XE-8373	<p>Data Integration Hub のインストール後、その環境内の構成ファイルを変更すると、Data Integration Hub インストーラを使用して Data Integration Hub にコンポーネントを追加した場合、元のインストール後に変更された設定データはコンポーネントのインストール中に表示されなくなります。Data Integration Hub</p> <p>回避策: コンポーネントのインストール中にインストーラによって表示されるデータが正しいことを確認し、必要に応じて訂正します。</p>

## 解消された制限事項

以前の解消された制限事項に関しては、以前のリリースのリリースノートをご確認ください。

CR	説明
DIHD-1419	Data Quality ワークフローをアップロードすると、次のエラーが表示される。 「ワークフロー定義ファイルが最大サイズの 20 M を超えています。」
DIHD-1413	1000 件を超えるパブリケーションまたはサブスクリプションで監視ルールを作成すると、Data Integration Hub コンソールに次のエラーが表示される。 「未処理の SQL 例外: [informatica][Oracle JDBC Driver][Oracle] ORA-01795: リスト内の式の最大数は 1000 です」
DIHD-1407	トピックの物理カラム名を編集することができない。
DIHD-1404	(800 件を超える) 多数のカラムを持ったトピックを含むテーブルを編集すると、Data Integration Hub コンソールが数分間応答しなくなる場合がある。

CR	説明
DIHD-1385	名前が 250 文字を超えるカテゴリを削除すると、ダイアログボックスの確認メッセージが正しく配置されない。
DIHD-1366	Data Integration Hub のクラウドバッチパブリケーションおよびサブスクリプションで、マッピング名にスペースが使用できる。
DIHD-1304	新しいトピックを作成して [リアルタイム] オプションを選択すると、文字列が外部化されず、Data Integration Hub コンソールに次のエラーが表示される。 「Kafka トピックの作成中にエラーが発生しました。」
DIHD-1261	モジュラークラウドマッピングパブリケーションの作成時のソースページと、自動クラウドサブスクリプションの作成時のターゲットページでのユーザーインターフェースレイアウトの問題。
DIHD-1243	パブリケーションの作成時に、[フィールドマッピング式] フィールドの値をクリアすることができない。
DIHD-1233	Informatica Intelligent Cloud Services の自動サブスクリプションのトピックテーブルからの DIH_UPDATE_STRATEGY_FLAG の削除。

## 既知の制限事項

CR	説明
DIHD-1431	Informatica Intelligent Cloud Service (IICS) のカスタム/モジュラーのパブリケーションまたはサブスクリプションをインポートすると、タスクが正常に上書きされない。 回避策: ユーザーインターフェース設定でワークフローの競合の解決を「上書き」に設定します。
DIHD-1036	Data Integration Hub パブリケーションリポジトリのデフォルトファイルグループを変更すると、変更前に作成したトピックを編集した際に、トピックからパブリッシュされたが使用されていないデータは破棄されることを示すメッセージが通知されます。 デフォルトファイルグループを変更するまで存在していたトピックは、トピック作成時にデフォルトグループであったファイルグループに引き続きパブリッシュされます。デフォルトファイルグループを変更しても、変更前にパブリッシュされた、コンシュームされていないデータは破棄されません。
DIHD-1032	パブリケーションの前処理があるパブリケーションの場合、イベントの平均処理時間レポートで、前処理時間が計算されません。
DIHD-1020	TEXT データ型のカラムに対して [等しくない] 演算子が指定されたフィルタを含むサブスクリプションで、[プッシュダウンの最適化を使用する] オプションが有効になっている場合、サブスクリプションの実行が失敗します。
DIHD-1018	パブリケーションリポジトリのデフォルトのデータ格納場所を変更すると、格納場所が変更されていて、トピックテーブルが再作成されることを示す警告メッセージが表示されます。トピックのメタデータが変更され、新しいデフォルトの格納場所が保持されます。トピックテーブルは新しい格納場所に再作成されず、古い格納場所に残ります。 回避策: トピックを編集し、[データ格納場所] をパブリケーションリポジトリ上の新しいデフォルトのデータ格納場所に変更します。

CR	説明
XE-8752	パーティションが有効な Microsoft SQL データベース:トピックの保持期間が 1 日に設定されている場合、Data Integration Hub はパブリケーションリポジトリからトピックデータを削除できません。パーティションに移動されるのは、1 日より古いデータのみです。 回避策: トピックの保持期間を 2 日以上に設定します。
XE-8333	末尾が文字#のデータベースパスワードを使用している場合、Data Integration Hub はパスワードから文字#を削除して PowerCenter 接続に入力します。
XE-7153	Data Integration Hub は、Data Integration Hub システムプロパティだけでなく、オペレーショナルデータストアの JDBC 接続プロパティを dx-configuration.properties ファイルに保存します。 回避策: dx-configuration.properties ファイル内の JDBC 接続プロパティを変更する場合は、システムプロパティも変更します。

## Informatica グローバルカスタマサポート

電話または Informatica Network からグローバルサポートセンターに連絡できます。

各地域の Informatica グローバルカスタマサポートの電話番号は、Informatica Web サイト (<https://www.informatica.com/services-and-training/customer-success-services/contact-us.html>) を参照してください。

Informatica Network でオンラインサポートリソースを見つけるには、<https://network.informatica.com> にアクセスし、eSupport オプションを選択します。